

平成21年度選択講習一覧表

整理番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	試験方法	備考
1	国語学力を形成する授業の実践理論と技法	国語学力は諸教科の学力の基底となるものであり、この充実・定着が常に求められていますが、実践上は大きな課題があります。それは、国語学力の内実が不明であること、また、学力形成法の根本、本質、原点が明確になっていないことによります。本講座では、これらの解明と打開について極めて実践的、具体的な成果を得られるよう学習者参加型の模擬授業方式を中心に進めていきます。明日の授業が変わるような提言をします。	野口 芳宏(植草学園大学発達教育学部教授)	6時間	平成21年8月17日	教諭	小・特別支援学校教諭	6,000円	100人	筆記試験	筆記用具持参
2	新学習指導要領を視野に入れた算数指導	ゆとりから学力の充実へ。新学習指導要領が告示され、算数指導もその内容および指導時間が充実されます。思考力、表現力の育成等が叫ばれていますが、その意味するところは何でしょうか、実際に日々どのように学習展開をしていけばよいかについて、具体的に解説します。また模擬授業を加えながら、実践に役立つ指導方法についても考えていきたいと思います。	小林 政治郎(植草学園大学発達教育学部教授)	6時間	平成21年8月18日	教諭	小・特別支援学校教諭	6,000円	100人	筆記試験	筆記用具持参
3	新学習指導要領からの新たな社会・理科の展開	学習指導要領の改訂をふまえ、社会科教育や理科教育は今後どう展開すればよいでしょうか。本講座では、①改訂をふまえた社会科教育について、これからの指導のあり方を中心に具体的に解説を行っていきます。今後の学習指導に役立つ知見について学びます。また、②理科教育の改訂事項についても、学習内容の増加分を中心に理解を深めるとともに、自然概念をもとにした内容構成をする必要をふまえて実地の教材開発を試みます。以上から今後の学習指導に役立つ指導のあり方への理解を深めていきたいと思います。	齊藤 靖之(植草学園大学発達教育学部非常勤講師) 貫井 正納(植草学園大学発達教育学部教授)	6時間	平成21年8月19日	教諭	小・特別支援学校教諭	6,000円	100人	筆記試験	筆記用具持参
4	体育・音楽による身体と感性の育成	小学生や幼稚園児のからだ・体育・音楽のつながりを考える講座です。身体と感性の育成支援をめざす体育と音楽の授業での取り組み方を取り上げます。①体育では、生活習慣や体力などの子どもの現状から身体を成長をどう促すかを考えます。また、②感性の育成に果たす音楽の役割・意味を考えたつづ、演習を通してその具体的なあり方を実践的に探っていきます。	小泉 佳右(植草学園大学発達教育学部講師) 川端 眞由美(植草学園大学発達教育学部教授) 高木 夏奈子(植草学園大学発達教育学部准教授)	6時間	平成21年8月17日	教諭	幼・小・特別支援学校教諭	6,000円	50人	筆記試験 実技審査	筆記用具持参
5	心を育て表現する力を育む(道徳・図工)	現在の子どもを取り巻く状況と子どものこころの問題から、幼児も含めた造形表現までを取り上げます。子どものこころは今のようであろう。①子どものこころをとらえ、アプローチする道徳教育のあり方について実践的な指導方法を中心に理解を深めます。また、②子どもが感性を働かせながら表現するための題材や支援のあり方(小学校図画工作科)を中心に、子どもの造形的な表現について学びます。実地のデザイン、絵画表現実技を通し具体的に学んでいきます。幼稚園教諭の方の参加も十分に可能です。	西村 正司(植草学園大学発達教育学部教授) 森高 光広(植草学園大学発達教育学部准教授)	6時間	平成21年8月18日	教諭	幼・小・特別支援学校教諭	6,000円	50人	筆記試験 作品評価	筆記用具持参
6	幼児の感性と表現を豊かにする	幼児の感性を豊かにする表現活動の実践はどのようにすればよいでしょう。「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」(幼稚園教育要領)の意味を考えてみます。さらに演習では、参加者が実際に絵本づくりや実地の表現活動づくりを行うことを通して、保育者自身が「豊かな感性と表現力」を感じとり、引き出す体験を実地にやってみます。これからの幼稚園教育に直接役立つ講座としたいと考えています。	植草 一世(植草学園大学発達教育学部准教授) 浅川 蘭子(植草学園短期大学福祉学科講師) 黒田 静江(植草学園短期大学福祉学科講師)	6時間	平成21年8月19日	教諭	幼・特別支援学校教諭	7,200円	50人	作品評価 実技審査	筆記用具持参
7	特別支援教育の実践課題に向き合う	特別支援教育の実践課題を取り上げます。①新幼稚園教育要領をはじめ、新学習指導要領をふまえた各学校等での特別支援教育の展開はどうあるべきかを考えます。②現場で大きな課題の障害のある、あるいは気になる幼児児童生徒の幼児期、学齢期での具体的な実践のあり方を次に取り上げます。さらに、③多動やパニックなど教室で見られる行動上の問題にどう対応すべきかなどを学びます。特別支援教育の実践課題解決への方策を探っていく講座です。	太田 俊己(植草学園大学発達教育学部教授) 佐藤 慎二(植草学園短期大学福祉学科教授) 多田 昌代(植草学園大学発達教育学部准教授)	6時間	平成21年8月17日	教諭	幼・小・中・特別支援学校教諭	6,000円	50人	筆記試験	筆記用具持参
8	障害のある子どもへの理論と実践を深める	さまざまな障害のある子どもについて、実際の教育でふまえるべき理論と方法のエッセンスを扱います。①情緒発達理論と発達に困難がある場合の事例や自閉症およびそれに類する事例への対応を取り上げます。②通常の学級に在籍する種々の障害のある子どもへの実践に関する理論と具体的な支援方法について学びます。さらに、③身体障害のある子どもがもつ認知面の困難への支援に関する理論と支援方法などを取り上げます。さまざまな障害のある子どもに幅広く対応できる考え方および対応方法の実践について理解を深めていく講座です。	安藤 則夫(植草学園大学発達教育学部教授) 桑田 良子(植草学園大学発達教育学部教授) 渡邊 章(植草学園大学発達教育学部教授)	6時間	平成21年8月18日	教諭	幼・小・中・特別支援学校教諭	6,000円	50人	筆記試験	筆記用具持参
9	子ども主体の特別支援教育とは何か？	特別支援教育は子ども主体の教育、ニーズをふまえた教育といわれます。この①子ども主体に進める特別支援教育実践の理念や具体的な実践方法とは何かについて、まず考えます。また、②生徒主体に進める作業学習、その具体的な実践方法とそこで大切にすべき配慮事項とは何かを次に取り上げます。さらに③子ども主体をめざしながら学級等の保護者とのように連携するといかなどについて前後の話題として取り上げます。子ども主体を基本とした特別支援教育の展開理念と方法に対する理解を深める講座です。	中坪 晃一(植草学園短期大学副学長) 藤田 俊明(植草学園大学発達教育学部教授) 高倉 誠一(植草学園短期大学福祉学科准教授)	6時間	平成21年8月19日	教諭	幼・小・中・特別支援学校教諭	6,000円	50人	筆記試験	筆記用具持参